

東総工業高校部活動の活動方針

I 教育目標

生徒・教職員が生き生きと輝き、学校が輝く ～地域に開かれた東総工業～
「ものづくり」の技術を生かし、地域社会で活躍できる人材を育成する。

- ① 社会で活躍するために必要とされる人間力と学力の基礎・基本を身につけた生徒を育てる。
- ② 身につけた知識・技術・技能を、創造的・実践的に応用し、協働できる人材を育成する。
- ③ 高い教養を身につけ、心身ともに壮健で社会に有為な人材を育成する。

II 部活動の意義

- スポーツや文化的活動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって豊かな生活を継続する資質や能力を育てる。
- 自主性、協調性、責任感、連帯感などを育成する。
- 自己の力の確認、努力による達成感、充実感をもたらす。
- 互いに競い、励まし、協力する中で友情を深めるとともに、学級や学年を離れて仲間や指導者と密接に触れ合うことにより学級内とは異なる人間関係の形成につながる。

III 部活動の基本方針

1 適切な指導

スポーツや文化活動の楽しさ・喜び等を体感し、生涯に渡ってそれらに親しむ態度を育成することを目指し、それぞれの部活動の実態に応じ、適切な目標・計画を設定して指導する。

- (1) 練習方法を生徒の実態等に合わせて工夫し、科学的・合理的な根拠に基づいて、効果的な指導を行う。
- (2) 目標や活動計画は、生徒の自主性を尊重し、生徒の実態に合わせた持続可能なものとし、また、その都度見直しを行う。
- (3) 協調性、責任感の涵養などの望ましい人間関係や生徒の目配りなど、適切な集団自治能力を涵養する。
- (4) 生徒の人権、人格を尊重し、体罰の禁止はもちろん、生徒の人格を傷つける言動やパワーハラスメント、セクシャルハラスメントのない指導を行う。
- (5) 指導者は、生徒が教育的成果を享受できるよう自主的に研鑽を積み、指導技術の向上に努める。

2 適切な活動時間

部活動の実態に応じて、効果的・効率的な練習を工夫し、活動時間の短縮に努めるとともに、休養日を設定するなど、生徒の心身の健全な成長を促す。

- (1) 平日の練習時間は2時間程度、土日を含む学校休業日（長期休業中を含む）の練習時間は、3時間程度とする。
- (2) 平日に1日以上、週末に1日以上、少なくとも2日以上の休養日を設けるように工夫する。また、生徒が十分な休養を取ることができるよう、まとまった休養期間を設ける。

3 事故防止

活動内容や環境整備に注意を払い、事故防止に努め、安全で安心な部活動を推進する。

- (1) 個々の生徒の体力や技量を把握し、適切な活動が行われるよう、細心の注意を払う。生徒の観察を適宜行い、体調管理に努める。
- (2) 高温時での熱中症対策、外の活動での落雷等、気象条件の的確な把握に努め、事故防止を防ぐ。
- (3) 不慮の事態の備え、構内の救急体制を整えておく。また、指導者、生徒とも、救命救急法の講習を受講し、知識を備えておく。
- (4) 月に1度、使用器具の安全点検を行い、環境整備に努める。

4 その他

安全で安心な部活動のために、職員全体で取り組む。

- (1) 生徒の安全、職員の負担軽減のため、複数顧問制とする。
- (2) 物品の購入、大会への参加費・部費等の徴収など金銭に関わることについては、文書などより、保護者に説明する。
- (3) 地域の行事に積極的に参加するなど、地域との連携に努め、「地域に愛される学校」づくりに努める。